

平成 28 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証第二部)
 問合せ先 執行役員 中尾 慎太郎
 最高財務責任者
 T E L : 0 3 - 5 4 6 9 - 3 2 2 2

特別損失の計上及び繰延税金資産の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月期において、下記のとおり特別損失および繰延税金資産を計上する見込みとなりました。あわせて、平成 27 年 7 月 30 日に公表いたしました平成 27 年 12 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

収益改善の見込めない店舗等の閉店により店舗閉鎖損失 11 百万円計上いたします。また、閉店及び弊社所有の事業用資産について収益性の低下により減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 178 百万円を計上いたします。以上により通期の特別損失は、190 百万円を計上する見込みとなりました。

2. 繰延税金資産の計上について

最近の業績動向及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額を△54 百万円計上する見込みです。

3. 平成 27 年 12 月期（連結）通期業績予想の修正
 （平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	9,684	115	114	31	3.10
今回修正 (B)	9,537	142	154	△22	△2.28
増減額 (B-A)	△146	26	40	△54	—
増減率 (%)	△1.5	23.0	35.0	—	—
(参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	10,198	△151	△74	△338	△33.67

【修正の理由】

国内については、売上高は店舗の改装や景気回復の影響もあり客数の減少に歯止めがかかり、想定を上回る客数の獲得により若干ですが計画値を上回る見通しです。また、損益は売上高上昇の影響で、売上原価率が改善傾向にあり、営業利益及び経常利益につきましても計画値を上回る予想となりましたが、上記法人税等調整額の計上があった一方で、減損損失の計上額が多額であったため当期純利益においては計画値を下回る見通しとなっております。

海外については、既存店において売上高減少が続く中、平成 27 年 12 月 4 日にリリースいたしました改装中店舗のリニューアルオープン遅延の影響もあり、売上高の大幅な計画未達成となる見通しです。また、売上高減少の影響による売上原価率の悪化により、利益につきましても計画値を下回る見通しとなっております。

上記の結果、連結業績予想において営業利益及び経常利益では計画を上回る見通しですが、売上高及び当期純利益につきましても計画未達成となる見通しです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上